



東日本大震災を風化させないための
月間活動を実施

トヨタ自動車東日本株式会社

東日本大震災の発生から 5 年を経過するにあたり、当社では「東日本大震災を風化させないための月間活動」を実施しました。

<主旨>

- ・震災で亡くなられた方々への哀悼の意を表す
- ・社員一人ひとりの防災意識を高める
- ・東北に根差す企業として、復興完遂への一助となる活動を推進する

<期間>

2016年3月1日から3月31日まで

<活動内容>

	項目	活動のねらい	内 容
1	黙祷・ 社長メッセージ の発信	震災を 忘れない	3月11日 14:46 (当時地震発生時刻) 全社一斉に黙祷を実施、および 社長メッセージを放送
2	講演会の開催		東日本大震災の被災経験者(語り部)より ご講話いただく
3	パネル展示・ DVD 放映		各拠点で作成した震災パネルを食堂に展示 震災発生時や復興支援等のDVDを放映
4	緊急連絡訓練 の実施	防災意識の 高揚	災害時に備え、緊急連絡訓練を実施
5	全員参加活動 の実施	被災地支援	3月に募金活動を実施
6	被災地産直品 の提供		食堂にて、被災地の特産品等の食材を使った メニューを提供 被災地企業の商品を産直販売

<被災経験者による講演会のご紹介>



復興みなさん会 代表 後藤一磨様は、「『想定』を超えるものがあることを常に意識すること」とご自身の体験を交えて講話されました。



講演会は本社をメイン会場として当社全拠点をテレビ中継し、約 450 名の従業員が聴講しました。



南三陸ホテル観洋 女将 阿部憲子様は、避難所として開放したホテルでの様々な活動等を写真やマップ（右に一部参照）を用いてご講話いただきました。



<被災地支援の活動のご紹介>



昼食メニューに被災地の食材を使用



美味しいと従業員にも好評